行動経済学を用いた選挙の投票率向上について

質問者　井　上　一　也

選挙の投票率低下に対し、従来の手法ではなく、自発的行動を促す行動経済学の知見と地域資源を活用した以下の具体策について町の見解を伺う。①「メッセンジャー効果」を応用した防災行政無線放送による子どもたちの声での投票呼びかけ。②子どもたちが描いた選挙啓発ポスターの投票所での展示と事前のＳＮＳなどでの周知。③「ＩＫＥＡ効果」による参加感を応用した投票所での住民参加型の地域未来マップづくり。